さかた

令和５年２月１日

市議会だより

第74号

「八幡神社奴振り（やっこふり）」

12月定例会

本市スポーツの推進及びアランマーレ山形女子バレーボールチームの活動を応援する決議を可決

議員辞職に伴う副議長の選挙、総務・民生常任委員会委員長の互選

ホームページはこちらから

酒田市議会　検索

目次

常任委員会活動報告 …… P2

12月定例会の概要、代表質疑、委員会審査、人事案件 …… P3～4

一般質問／16人が登壇 …… P5～10

本市スポーツの推進及びアランマーレ山形女子バレーボールチームの活動を応援する決議 …… P11

12月定例会審議結果一覧、議会活動日誌 …… P12

令和4年の主な活動状況 …… P13

3月定例会の開催予定、傍聴案内、編集後記 …… P14

行政視察報告【11月8日、9日】

総務常任委員会

※1委員長　池田　博夫　議員

文化的建築物の保存・利活用公共交通の取り組み

【群馬県桐生市】

桐生市は、近代以降の多種多様の建物、製織町として栄えた街並みが残されているとして、市内一部が、平成24年7月に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、市内に文化財も複数存在する。現地視察では、ノコギリ屋根工場や蔵など、古くからの貴重な建造物、当初から継承されている土地の区画など、当時の町並みを保存しながら建物を修理し、現在、カフェや帽子製造などの場として活用されていることが確認できた。山居倉庫の利活用を考える上で参考となる事例であり、歴史的価値を損なわないよう利活用し、後世へ確実に引き継ぐことができるよう働きかけていきたい。

桐生市の公共交通の取り組みの一つに、予約制おりひめがある。空きタクシーを利用することから、固定費がかからず、利用者も通常のタクシーより安く移動できるものであり、利便性の向上に寄与していると認識した。本市の公共交通における市民の利便性向上に向けて、今後も調査研究を進めたい。

重要伝統的建造物群保存地区
（のこぎり屋根工場）

※予約制おりひめ…タクシー車両を使用し、一般の路線バスと同様に、経路上のバス停で定められた時刻に乗り降りをし、他の利用者と一緒に乗り合って利用する取り組み

委員会所管事項調査【11月24日】

民生常任委員会

※2委員長　江口　暢子　議員

「切れ目のない子育て支援」健康福祉部との意見交換を踏まえた議員間討議

健康福祉部との意見交換を行なった後、議員間討議を行なった。子育て世代包括支援センター「ぎゅっと」をはじめ、小さい子どもへの支援施策は充実してきていること、行政だけではなく、まち全体での支援の必要性や未だに支援の手が届いていない家庭もあるなど意見が出された。また、子どもが生まれる前の若い世代への施策の課題はないか、組織の縦割りが未だに残っているためその脱却が必要との意見もあり、さらに調査研究を進めたい。

関係団体との意見交換【12月19日】

建設経済常任委員会

委員長　安藤　浩夫　議員

本市除雪、地域経済活性化とインフラ整備

当委員会では、定期的に各関係団体との意見交換を行っている。今回、酒田建設業協会の方々と意見交換を行った。除雪作業の現状や中心市街地などの整備に関する意見交換の中で共通した課題は、「人口減少化を前提とした在り方が必要になる」ことと認識した。行政の事業を担う事業者の方々の意見は重要であり、今後の政策提言につなげたい。

その他、当委員会のテーマの一つ「洋上風力発電」に関しては酒田沖の進捗状況などを共有できた。

※1 池田博夫議員は令和4年12月15日に総務常任委員会委員長を辞任
※2 江口暢子議員は令和4年12月15日に議員辞職

12月定例会

令和4年12月2日～15日
会議期間14日間

12月定例会の議案等

●市長提出案件……21件

令和4年度一般会計補正予算（第8号）をはじめ、右記議案などを審議しました。

議案は、各常任委員会、予算特別委員会の審査を経て本会議で採択が行われた結果、可決、承認、同意されました。

代表質疑

代表質疑とは…
会派・団体の代表が、市長提出の議案に関して、疑問を問い確かめるもの。

市長提出議案に対する質疑では、12月6日に各会派等の代表1人が行いました。質疑と答弁の要旨は次のとおりです。

共産党市議団

斎藤　周　議員

総合計画後期計画の提案までの経緯は

問 酒田市総合計画（以下：計画）後期計画を策定する際は、計画審議会やワークショップ（以下：WS）を開催するなど、これまでの計画策定時には参画しなかった多くの市民から参画いただいた。計画後期計画を策定するに当たって、今定例会に提案するまでの間、どのような経緯だったのかを伺う。また、計画審議会、パブリックコメント（以下：PC）による市民の声、本市議会などからの意見はどの程度反映されたのかを伺う。

答 市長 計画後期計画は、第4回計画審議会で会長からの答申を受け、今定例会に提案をした。審議会は各部会を含め計20回開催し、部会をWS形式で行い、審議会委員の構成比を女性48％、40代以下44％とし女性や若い世代の意見を聞けたと考えている。PCでは、市民7名から意見をいただいた。本市議会では全員協議会で各常任委員会などの意見の反映状況を説明している。意見は、意見項目数と計画反映数から、審議会意見の約95％、PCでの意見は100％、市議会意見約92％が計画後期計画に反映されている。

常任委員会

12月7日に各常任委員会、15日に総務常任委員会を開催し、議案12件を審査しました。

総務常任委員会

議第82号デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定についてのほか、議第83号から議第85号、議第87号および議第88号の議案6件を審査しました。

審査の結果、議案はいずれも原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

また、12月15日に追加提案された議第96号酒田市一般職員の給与に関する条例等の一部改正についてを審査しました。

審査の結果、議案は原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

民生常任委員会

議第89号酒田市とびしまマリンプラザの指定管理者の指定についてのほか、議第90号の議案2件を審査しました。

審査の結果、議案はいずれも原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

建設経済常任委員会

議第86号酒田市手数料条例の一部改正についてのほか、議第91号および議第92号の議案3件を審査しました。

審査の結果、議案はいずれも原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

予算特別委員会

12月8日に報第17号専決事項の報告について（令和4年度酒田市一般会計補正予算（第7号））のほか、議第79号から81号の議案4件を審査しました。今回の補正は、原油価格高騰に伴う燃料費および電気料金の値上げによる光熱水費の増額、ならびに新型コロナウイルスワクチン接種対策事業の事業進捗によるものが主なものでした。

審査の結果、議案はいずれも原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

また、12月15日に議第93号酒田市一般会計補正予算（第9号）のほか、議第94号および議第95号の議案3件を審査しました。今回の補正は、新型コロナウイルス感染症に関する経済対策ならびに山形県人事委員会勧告などに準じた制度改正に伴う給与などの増額に伴うものでした。

審査の結果、議案はいずれも原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

人事案件に同意

12月15日に提案された酒田市副市長の任命について、議会は全会一致で同意しました。

任期は令和5年1月1日から令和8年12月31日までです。

【副市長】

安川　智之 氏

議員の辞職

令和4年12月15日に江口暢子議員、田中斉議員から一身上の都合により議員を辞職したい旨の辞職願が提出され、議会はこれを許可しました。

辞職に伴う補欠選挙は行ないません。

※公職選挙法の規定により、議員の欠員の数が定数の6分の1を超えた場合や市長選挙が行われる場合に補欠選挙が実施されます。

副議長の選挙

田中斉議員の辞職に伴い、副議長が空席となったことから、副議長選挙が行われ、指名推選により当選しました。

【副議長】

池田　博夫 議員

総務常任委員会委員長の辞任・互選
民生常任委員会正副委員長の互選

12月15日に総務常任委員会、民生常任委員会を開催し、左記のとおり許可および当選することに決しました。

総務常任委員会　委員長の辞任　池田　博夫
同　委員長の互選　齋藤　美昭
民生常任委員会　委員長の互選　松本　国博
同　副委員長の互選　冨樫　覚

一般質問

一般質問とは…
市政全般に関する状況や方針を質問し、報告や説明を求めたり、疑問を明らかにするもの

12月13日から15日に計16人が質問を行ないました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。

教育環境や学校行事においてのコロナ対応

松本　国博
議員

問 11月に文部科学省から「コロナ感染対策を講じていれば学校給食の際の会話は可能」と通達があったが、現場では黙食を継続する雰囲気にある。3年間にもわたるコロナ制限による子どもたちや保護者の心身の負荷を調査し、子どもたちのストレスを段階的にでも解消すべきではないか。

答 教育次長 各学校で定期的に子どもたちに学校生活あるいは家庭生活に関するアンケートを行い、教育相談週間などを設けて一人一人と面談し対応している。コロナの影響のアンケートを加味できるか検討したい。

問 多くのイベントが行われている現状に合わせ、卒業式、入学式などの重要行事は限りなく以前のように市の統一した基準での開催を望むが所見を伺う。

答 教育次長 国や県の動向も踏まえ、緩和の方向で検討を進め、学校と保護者あるいは地域の方々と協議し、お互いに納得しながら進めていくよう対応したい。学校の規模などそれぞれで慎重に検討した結果、対応に若干の差が出てきたことも認識している。そうした部分の対応も含めて、検討していきたい。

他の質問
デジタルトランスフォーメーションとマイナンバー制度の連携

女性がいきいきと働きやすいまちを目指して

武田　恵子
議員

問 本市の女性活躍は取り組みの成果が地道に進んでいる。日本一女性が働きやすいまち宣言に賛同するリーダーの会の会員の現状は。

答 副市長 令和2年20社でスタートし、4年12月8日現在で72社と着実に増加している。

問 「えるぼし認定企業」の数はどうか。

答 副市長 12月8日現在で本市内では3社、本社が市外だが、プレステージインターナショナル、荘内銀行の市民が多く働く企業で、えるぼし認定企業に認定されている。

問 市職員の女性管理職の割合は増えたと評価するが、一歩、市役所の外に出たとき、市民の意識改革は進んでいると言えるのか。

答 副市長 若い年代は意識改革が進んでいる一方、比較的年齢が高い世代は、依然として固定的役割分担意識が強いと認識している。

問 女性活躍推進事業を実施しているが、市民の行動変容をどのように把握しているのか。

答 副市長 リーダーの会の企業数、一般事業主行動計画の策定数、えるぼし認定企業の数などである。今後は、より具体的に市内の企業の管理職の女性の割合、男性育休の取得状況など把握できるか検討していきたい。

他の質問
帯状疱疹に対する認識と予防接種への助成の考え方

学生と若者が酒田で働きたいと思えるまちに

大壁　洋平
議員

問　本市の有効求人倍率は他地域に比べると異常に高く、労働者不足が問題になっている。また、地元高校生や東北公益文科大学の学生の本市への就職は芳しくない状況である。地元就職やＵＩＪターンを進めるために、本市の課題認識と今後の取り組みについて所見を伺う。

答　**地域創生部長**　地域として若者の地元定着を図ることも大切であり、ハローワーク酒田あるいは県、商工会議所など関係団体と連携しながら、地元企業の紹介、あるいは交流の場の提供など、企業と求職者がマッチングできるような取り組みも必要だと考えている。また、企業の収益拡大、待遇改善、賃金向上に前向きに取り組んでいけるよう、国・県の制度の周知、セミナーを開催するなどして支援をしていきたい。

酒田ＤＥワーク

他の質問

日本一女性が働きやすいまち

酒田駅前交流拠点施設ミライニの現状と今後の施設利用

安藤　浩夫
議員

問　ミライニがグランドオープンして5ケ月が経過した。昨年と比較すると、入館者は2・6倍に増加し、図書館利用者も増加している。特に11歳から20歳までの若年齢層の利用率が高まっており、中高生の勉強、交流、出会いの場となっている。このような現状をどう把握し、分析しているか伺う。

答　**教育長**　事業目標に若い世代、ビジネスパーソンの利用を高めることを掲げ、概ね狙いどおりに進んでいる。この傾向が一過性のものに終わることなく、維持さらには伸ばしていくことが重要なことと捉えている。

問　今後は周辺地域、自治会、商店街などを巻き込んでイベントや施設活用が駅前全体の賑わいにつながるものであると考えるが所見を伺う。

答　**教育長**　駅前地区の商店街などとの連携組織である駅前活性化協議会の主催で、すでにイベントを開催するなど動き出している。また、イベントなどを企画する力を養う講座もミライニでエリアマネジメントスクール講座として開催し、市民協働の動きも広がっていくことを期待している。

他の質問

路線改編後の公共交通運行状況と二次交通の充実

「行かなくてよい　書かない　待たない」市役所

冨樫　　覚
議員

問　本市では令和3年『酒田市デジタル変革戦略』を策定し、市民の利便性の向上を目指してデジタル化に取り組んでいる。全国でＤＸ（デジタルトランスフォーメーション）に積極的に取り組んでいる例を見ると、手続きのオンライン化や手続案内機能の充実など、さまざまなデジタル技術を活用して行政サービスの見直しを行うことにより「行かなくてよい　書かない　待たない」が可能なデジタル市役所を目指す自治体が見受けられる。本市の考え方について所見を伺う。

答　**デジタル変革調整監**　窓口ＤＸを進める上で成功の鍵となるのが、デジタル技術を活用して市民と直接対話をするフロント業務とその後の事務処理を行うバックヤード業務、その両方をセットで改革することだと言われている。これまで取り組んできた手続きのオンライン化、来年春にサービスを開始する予定の市民マイページ、こういったものを活用しながら、本市が目指す窓口の在り方、市民に喜んでいただける窓口、職員も喜ぶことができる窓口がどういう姿なのかを来年度から本格的に検討を開始する予定である。

他の質問

10月29日酒田市一斉総合防災訓練の総括

本市における稲作農業の課題と対策

佐藤　喜紀
議員

問 数年前には年間8万トンであった主食用米の需要減少ペースは、コロナ禍、食生活の多様化や少子高齢化などにより年間10万トンを超えるペースに加速している。本市では、稲作農業に対し、各種支援、事業を行なっているが、稲作農家を取り巻く環境や課題について情報収集と蓄積、事業の検証を行うことで生産意欲の維持、向上を図るべきと考える。土づくり支援事業、スマート農業の成果、産業振興まちづくりセンターサンロクによる農業分野のマッチング状況について伺う。

答 農林水産部長 県内の水田では、ケイ酸濃度の低下が見られ、生産力の低下が懸念される。ケイ酸資材の施用を推奨していくが、効果がすぐ現れるものではないため、粘り強い支援を継続する。ドローンによる圃場ごとの状態確認やデータ活用により、農業者が自ら実施した対策をチェックし、課題を次に活かす行動変容につながっている。

答 産業振興調整監 サンロクでは農産物の生育、販路、もしくはグリーンツーリズムにつながるような取り組みなど、農政課と連携し、さまざまな案件に支援をしている。

他の質問
高齢化による離農への対応、耕畜連携の実施状況

酒田市一斉総合防災訓練の成果と課題は

江口　暢子
議員※

問 自然災害は、現実的には広範に発生することが多く、行政としてもそれを総合的に把握し対応しなければならない。市民の防災意識向上のために防災訓練は重要であるが、令和4年度の酒田市一斉総合防災訓練は、これまでのような限定地区での訓練ではなく、市全域を対象とした広域的訓練として実施された。市全体では広報紙やホームページでの広報はあったが、市民全体への周知はどうだったのかも含めて、その成果と課題を伺う。

答 危機管理監 各地域のコミュニティ振興会の代表者や防災関係者などを対象に総合防災訓練の説明会、訓練の周知チラシを市広報10月1日号に折り込み全戸配布したほか、市ホームページや市公式ＬＩＮＥでも訓練の周知を行なった。しかし、地域によっては訓練を知らなかった人がいたことも事実であり、周知が十分であったとは言えなかった。次回、防災訓練の情報が地域の隅々に行き渡るよう、より積極的にコミュニティ振興会などに働きかけていく。また、多くの市民に防災訓練を自分ごととして受け取ってもらうためにも、何度も同様の訓練を繰り返していきたい。

他の質問
防災人材の活用は、ＡＥＤのプライバシー保護

※江口暢子議員は令和4年12月15日議員辞職

誰一人取り残さない子育て支援

遠田　敏子
議員

問 コロナ感染の波が繰り返される中、本年11月に不登校過去最多の報道があり、9年連続での増加、前年度比25％の増加率は過去に例がないことであるが本市の状況はどうか。

答 教育長 若干の増減は見られるが、不登校の児童・生徒、ふれあい教室への通級児童・生徒数ともに増加傾向になっている。

問 本年7月末での旧八幡町、旧平田町のぐるっとバスの路線廃止に伴い、児童生徒たちの移動手段が断たれてしまっている。適応指導教室や学びのための交通手段の確保は誰一人取り残さない子育て支援につながると思うが本市の所見を伺う。

答 教育長 距離の問題など保護者の方々に非常に負担がかかり、容易に通えないという児童・生徒がいることも認識している。教育委員会では家庭訪問相談員とスクールソーシャルワーカーを配置しており、家庭からの要望があれば派遣している。継続的に子どもとのふれあい活動を行ったり、保護者とも面談したりすることで、家庭での不安の解消や必要な関係機関につなぐなど、個別の対応を行なっている。

他の質問
子宮頸がんワクチン定期接種、個別通知の重要性

緊縮財政に突入か

後藤　仁
議員

問 本市は財政再建（人件費の削減含む）に取り組んでいる千葉県銚子市より、住民一人当たりの公債費が多い。富山県高岡市も人件費削減に取り組んでいる。本市の現状と課題をどのように考えるか。

答 **市長** 予断を許さない状況であり徹底した歳出改革に取り組む。

問 給与や事業の見直しは。

答 **市長** 必要性などを整理し取り組む。

問 プロジェクト30-30（サーティサーティ）の具体的姿がよくわからない。令和5年度予算でどう形になるのか。また、山居倉庫整備や老朽化施設整備はちゃんとやれるのか。

答 **市長** 市債借入額を単年度で30億円程度、財政調整基金の年度末残高30億円を目安に予算編成方針等に基づき取り組む。必要な整備は計画優先順位で進め、山居倉庫本体は国の補正予算決定後、基金を充当し取得したい。

問 公共事業が大幅に減ることで地域経済への影響はないのか。

答 **市長** 地域経済は本市の予算のみで支えられているものではないが、民間活力を利用し、地域全体で振興を図りたい。

他の質問
日本一女性が働きやすいまち

致道館中学校開校の本市小学校教育への影響

佐藤　弘
議員

問 令和6年度、鶴岡市に県立致道館中学校・高等学校が開校する。過日、本市総合文化センターで行われた説明会には約180名の保護者などが参加し、関心の高さがうかがえた。新中学1年生は、今年度小学5年生が来年度受験し、99名が入学予定である。本来、市立中学校へ進学予定の生徒が県立中学校へ進学するので、特に鶴岡市の小中学校には大きな影響が予想される。本市から県立致道館中学校への進学者は少ないと思われるが、中学受験という今まで無かった制度が始まるわけなので、本市小学校教育にも少なからず影響が考えられる。県立致道館中学校開校に係る本市小学校教育への影響について伺う。

答 **教育次長** 県立致道館中学校の入学定員99名のうち、その多くは鶴岡田川地区の児童と考えられるが、本市からも一定数の児童が進学するものと想定している。これにより、本市中学校の学級編成に影響することも想定されるが、小学校の学習内容そのものに大きな影響を受けるものではないと捉えている。

他の質問
米作りの中干しが温室効果ガスを減らす

高齢化の進展に伴う課題の認識と対応策

後藤　啓
議員

問 全国的な問題である少子高齢化の日本は、平成19年に超高齢社会へ突入し令和3年時点高齢化率28・9％で超高齢化社会が継続し今後も高くなると予想される。本市は国よりさらに高い高齢化率で推移している。本市が抱える高齢化問題への認識と高齢者が健康で元気に地域で暮らせるための施策について伺う。

答 **健康福祉部長** 高齢者人口の増加に伴い、独居高齢者などの増加が見込まれ、今後も介護需要の増加を予測している。介護需要と供給量のバランス、さらには介護保険事業の適正な運営に取り組むとともに、健康寿命の延伸と介護予防が重要であると考える。令和元年12月に実施した要介護認定者を除く65歳以上の市民9千人を対象とした介護予防・日常生活圏域ニーズ調査では、地域活動の企画、運営者としての参加希望を質問したところ、「ぜひ参加したい」「参加してもよい」の回答が合わせて28・4％であった。今後も、居場所づくり、通いの場の周知、元気な高齢者が生活支援の担い手として活躍できる場の確保を関係機関と連携し支援していきたい。

他の質問
がん検診受診率向上に向けた施策は何か

地域通訳案内士の育成は必要ではないか

斎藤　周
議員

問 昨年10月に開催されたクルーズセミナーで、寄港地観光ツアーの不満点として「ガイドによる案内不足」が挙げられた。その理由は「通訳ができても地元を説明ができない」などというものだった。地域通訳案内士の育成は、通訳案内士法の第53条で国土交通大臣は基本的な指針を策定し、第54条で市町村と都道府県は単独または共同で育成計画を策定することができると規定されている。育成計画の策定の有無も含めて地域通訳案内士の育成が必要と考えるが所見を伺う。

答 **地域創生部長**　地域通訳案内士は、特定の地域における固有の歴史・地理・文化などに精通し、各自治体が行う研修を受講して登録を受けた方々である。現在14名を認定し本市、遊佐町、庄内町で報酬を得て通訳案内ができる。本市では、令和元年度に北庄内地域通訳案内士育成計画を作成し、観光庁長官の同意を得て、地域通訳案内士を導入した。育成計画に基づき、語学力だけではなく、基礎的な観光情報を含め、歴史・文化・地形、感動を呼ぶ伝え方などをテーマにしたスキルアップ研修などを毎年実施している。

他の質問
新年度予算編成にあたって市民の声を反映させる取り組みを

スポーツ少年団との連携による部活動の地域移行

齋藤　美昭
議員

問 中学校運動部活動の地域移行に向けては、スポーツ少年団（以下：スポ少）との連携が重要と考える。そこで、スポ少への活動支援の一つである指導者確保の取り組み、財政的支援を伺う。

答 **教育次長**　本市スポ少本部では、令和3年度から令和5年度まで指導者の資格移行をした団に対し1団1万円を補助しており、これまで8団体へ交付している。

問 現在、中学校運動部活動の地域移行に向け、課題などは「スポーツ推進審議会」で協議しているとのことだが、その協議内容や取り組みの進捗状況を伺う。

答 **教育次長**　10月11日の第2回審議会では、生徒、教員、外部指導者を対象とした意識調査の結果を報告のうえ、意見を聴取し、専門的指導ができる体制を整えていく必要があると確認した。

問 スポ少本部からスポ少に行った説明会の状況を伺う。

答 **教育次長**　11月21日に説明会を実施し、中学校運動部活動の地域移行について説明を行った。

他の質問
酒田市の定年引き上げに伴う課題

市営合葬墓の考えは

市原　栄子
議員

問 近年、少子高齢化が進み、さらに若者の市外への流出もあり、単身の高齢者などが増えている。こうした中で、墓所の継承者がいないなど、墓所を維持できないという現実と子どもたちに墓所管理の負担をかけられないなどの考えも生まれている。また、市民から市の合葬墓はないかという相談、やすらぎ霊園に墓所を求めたが、継承者がおらず墓じまいをしたいものの、その後の場所がないという声もある。他自治体では公営の合葬墓の整備が行われ広がりつつある。本市でも合葬墓の整備が必要と考えるが、所見を伺う。

答 **市民部長**　墓の承継者が不在で「墓じまい」をしたいなどの理由により、遺骨を合葬し、共同供養する合葬墓が注目され、特に首都圏の寺院、民営・公営墓地に増えてきている。近年、本市各宗派の寺院でも遺骨を合葬し、永代供養する合葬墓が増えてきている。寺院によるが、宗派を問わず合葬墓に納骨できる寺院も増えてきており、本市各寺院での整備状況などを勘案し、現時点で市営の合葬墓の整備は考えていない。

他の質問
豪雨による内水氾濫に備えるまちづくりを

本市の財政健全化に向けた取り組み

伊藤　欣哉
議員

問 本市では、財政健全化に向けて、財政調整基金（以下：基金）30億を確保すること、市債発行上限額を30億に抑えることを目指した対策「プロジェクト30-30（サーティサーティ）」を提唱している。ここに至った経緯および達成のための課題を伺う。

答 市長 これまで中期財政計画などを示し市政運営を図ってきたが、慢性的な財源不足により基金の取り崩しに頼る予算編成が続いている。今後、徹底した歳出改革が必要である。令和4年度に取りまとめる酒田市総合計画後期計画では、持続可能な予算編成などを行うための具体的な指針を記載する。30-30というキャッチフレーズを使い財政状況の改善に取り組むことで縮減された公債費を戦略的事業などに活用することが可能と考える。経常経費などを令和4年度と同額と試算しており、今後、経費増となれば、事業の見直しなどを合わせて行う必要がある。その際は調整や市民理解を得ることが課題となる。歳入では、普通交付税の増額は予想できず、市税の確実な賦課と徴収などでの財源確保などに今以上に取り組む必要があると考える。

他の質問
新型コロナウイルス感染症第8波への対応、物価高騰対策

保育園留学の考えは

齋藤　直
議員

問 保育園留学とは内閣府よる「一時預かり事業」を活用して、地域の認可保育所、認定こども園と公式連携した暮らしと食育のワーケーションプログラムの提供で、全国4自治体で展開しており、利用者の予約が殺到してキャンセル待ちの状況と聞く。本市は春夏秋冬、季節がはっきりした魅力のあるまちであり、そこでのびのびと子育てをしてもらうことは仕事と子育ての両面から人口減少の抑制につながるものと考えるが、本市の保育園留学に対する考えを伺う。

答 副市長 保育園留学は、民間事業者が北海道厚沢部町（あっさぶちょう）などで実施するリモートワークをしながら家族で移住体験ができるプログラムで、「地方創生SDGs官民連携プラットフォーム」の優良事例に選出された事業である。自然豊かな地方で、子どもを安心して預けながらワーケーションができる非常に人気のある事業と認識している。即時の移住に結びつくものではないが、本市の交流事業拡大や将来的な移住促進につながる可能性があるため、事業スキームや経費などの情報収集に努めていきたい。

他の質問
無園児の対応、祖父母休暇制度の考え

令和4年の一般質問から　～住民の代表として市政の監視と政策立案機能を発揮～

令和4年は議員延べ67人が152項目にわたって一般質問を行いました。

中でも子育て関連の質問が多く行われ、次いで多かった公共施設に関する質問では、公共施設の適正化計画や酒田駅前交流拠点施設ミライニ、公文書館、希望ホール（市民会館）に関すること、そのほかにも市への指摘や提案が、さまざまな視点から行われました。

住民の意見を代表し、市政につなぐ一般質問。皆さんもこうした視点から傍聴してみてはいかがでしょう。

一般質問のテーマ	質問回数
子育て関連（保育園、育休、児童虐待など）	11(5)
公共施設（適正化計画、文化・スポーツ施設など）	10(8)
教育環境の整備（学校教育以外）	9(4)
農政、食育	8(5)
防災・減災（自然災害）	7(4)
学校教育	4(3)
財政関連	4(4)

※項目は、実際の発言内容で分類しているため、通告と異なる場合があります。
※質問回数はのべ人数、（　）は実人数です。

本市スポーツの推進及びアランマーレ山形女子バレーボールチームの活動を応援する決議

12月定例会の12月12日に、議員発議により、本市スポーツの推進及びアランマーレ山形女子バレーボールチームの活動を応援する決議が提出され、全会一致で可決されました。

スポーツは、体の健康維持や体力増進が図られるだけでなく、子どもの心身の健全な育成を促し、またプロスポーツ観戦は、夢や希望、感動を与えるとともに、活力ある社会の形成にも大きく貢献するものとなっている。

本市では、酒田市スポーツ推進計画を策定し、スポーツを楽しみ、健康で魅力あるまち酒田を目指して、スポーツの推進に取り組んでおり、次世代を担うジュニア選手や若手指導者の育成を行うなど、地域に根差したスポーツチームと連携を図っている。

こうした中、本市に拠点を置いて活動しているアランマーレ山形女子バレーボールチーム（以下「アランマーレ」という。）は、平成27年（2015年）4月に設立され、2019年から2021年の3シーズンでは、Vリーグディビジョン2のファイナルラウンドに進出したことや今シーズンは開幕から無敗の8連勝していることなどから、Vリーグディビジョン1での活躍を期待する声が高まっている。

アランマーレは、「地域を元気にしたい」、「女性活躍を応援したい」というチームコンセプトにより、バレーボール教室などのクリニック活動やバレーボール以外の活動においてもスポーツによる地域連携、小学校での食育活動など様々な取り組みを通して地域を支援している。

さらに、本市はアランマーレとの協定により、アランマーレの活動に対する支援や市民を挙げて応援する機運の醸成を行うこととしている。

本市議会としても、本市のスポーツ活動を推進していくとともに、本市に根差したスポーツチームであるアランマーレを今まで以上に応援していくこととする。

以上、決議する。

令和4年12月12日

酒田市議会

決議	議会の意思を対外的に表明するもの

令和４年第７回12月定例会　議決結果一覧

議案番号	件名	結果
報第１６号	専決事項の報告について（損害賠償の額の決定）	報告
報第１７号	専決事項の報告について（令和４年度酒田市一般会計補正予算（第７号））	承認
議第７９号	令和４年度酒田市一般会計補正予算（第８号）	可決
議第８０号	令和４年度酒田市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）	可決
議第８１号	令和４年度酒田市駐車場事業特別会計補正予算（第１号）	可決
議第８２号	デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決
議第８３号	酒田市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	可決
議第８４号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	可決
議第８５号	酒田市都市計画税条例の一部改正について	可決
議第８６号	酒田市手数料条例の一部改正について	可決
議第８７号	酒田市総合計画後期計画の策定について	可決
議第８８号	酒田市体育館、酒田市国体記念体育館及び酒田市飯森山多目的グラウンドの指定管理者の指定について	可決
議第８９号	酒田市とびしまマリンプラザの指定管理者の指定について	可決
議第９０号	琢成学区学童保育所ほか 15 学童保育所の指定管理者の指定について	可決
議第９１号	酒田市観光物産館の指定管理者の指定に関する議決の一部変更について	可決
議第９２号	酒田市山王くらぶの指定管理者の指定について	可決
議第９３号	令和４年度酒田市一般会計補正予算（第９号）	可決
議第９４号	令和４年度酒田市介護保険特別会計補正予算（第２号）	可決
議第９５号	令和４年度酒田市風力発電事業特別会計補正予算（第２号）	可決
議第９６号	酒田市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について	可決
議第９７号	酒田市副市長の選任について	同意
議会第６号	本市スポーツの推進及びアランマーレ山形女子バレーボールチームの活動を応援する決議について	可決
議会第７号	酒田市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	可決

Diary 議会活動日誌

11月

1日　議会報編集委員会
8日　総務常任委員会行政視察（～９日）
　　議会報編集委員会研修会（山形県市議会議長会主催）
24日　全議員勉強会
　　各常任委員協議会
　　民生常任委員勉強会
28日　議会運営委員会
29日　議会改革推進特別委員会

12月

2日　**12月定例会（～15日）**
　　本会議
　　議会運営委員会
6日　本会議
7日　各常任委員会
　　各常任委員協議会
8日　予算特別委員会
　　議会運営委員会
12日　本会議
　　議会報編集委員会
13日　本会議
　　議会運営委員会
14日　本会議
　　議会運営委員会
15日　本会議
　　総務常任委員会
　　予算特別委員会
　　議会運営委員会
　　総務・民生常任委員会
22日　議会改革推進特別委員会

令和４年 酒田市議会の主な活動状況

◎議会の開催状況と審議件数など

	会期日数	本会議		議案件数			請願	代表質疑	一般質問
		日数	出席率	市長提出	議員提出	その他			
３月定例会	24日	8日	100.0%	54件	3件	6件	0件	1人	17人
４月臨時会	1日	1日	100.0%	6件	0件	0件	－	0人	－
６月定例会	14日	6日	100.0%	18件	1件	1件	1件	1人	18人
７月臨時会	1日	1日	100.0%	1件	0件	0件	－	1人	－
８月臨時会	1日	1日	96.0%	2件	0件	0件	－	0人	－
９月定例会	22日	6日	100.0%	31件	1件	2件	1件	5人	16人
12月定例会	14日	6日	100.0%	21件	2件	4件	0件	1人	16人
合計	77日	29日	99.9%	133件	7件	13件	2件	15人	67人

◎委員会の開催状況と審査件数

	委員会		協議会
	開催日数	審査件数	開催日数
総務常任委員会	8日	31件(1)	12日
民生常任委員会	6日	10件	9日
建設経済常任委員会	5日	20件(1)	12日
予算特別委員会	12日	36件	0日
決算特別委員会	3日	9件	0日
合計	34日	106件	33日

※(　)内は請願審査分で内数

◎議会運営委員会等の開催状況

	開催日数
議会運営委員会	29日
議会報編集委員会	15日
議会改革推進特別委員会	11日
委員長会議	4日
全員協議会	1日

◎本会議傍聴者数　**124**人（令和３年:148人）

◎行政視察来庁者数　**12**団体・**95**人
（令和３年：２団体・20人）

来庁者の主な視察内容

・空き家対策について
・官民が連携したDXへの取り組み、支援について
・酒田市交流拠点施設「ミライニ」について

スポット

スポットでは、酒田市議会からのお知らせを掲載しています。

スポーツの推進と女子バレーボールチームアランマーレの活躍を後押し

12月12日の本会議では「アランマーレ応援議会」を開催しました。

議員および市長、幹部職員が応援ユニフォームを着用し、アランマーレを応援する旨の決議を全会一致で可決しました。

皆さんの傍聴をお待ちしています。

原則どなたでも傍聴することができます。

本会議、予算特別委員会を傍聴される場合は、市役所３階、議場の傍聴席入口前にある傍聴受付カードに住所・氏名を記入の上、受付箱に入れ、傍聴席に入場ください。

団体で傍聴の場合は、事前に議会事務局へお問い合わせください。

12 月定例会中の傍聴者数
個人 17 名、団体１　計 22 名

次回定例会のお知らせ（予定）

- ■会期日程 …… ２月21日～３月16日
- ■代表質疑 …… ２月21日、３月　1日
- ■常任委員会 …… ２月22日、３月　2日
- ■予算特別委員会 …… ２月22日、３月3日～8日
- ■一般質問 …… ３月13日～16日

※詳しい日程は、２月15日に開催予定の議会運営委員会で決まります。

３月定例会 請願締切 **２月10日（予定）**

表紙写真説明

八幡神社 奴振り・流鏑馬（やぶさめ）（八幡神社例大祭）

●日時：毎年５月１日　（奴振り）午前５時～午後６時　（流鏑馬）午後１時

●場所：（神社）市条字水上１-１　（奴振り）市条地区内　（流鏑馬）荒瀬川左岸

江戸時代の大名行列の供先を務めた「奴」の姿に扮した若者たちが毛槍や鋏み箱などを手にまちを練り歩く「奴振り」や五穀豊穣を祈願する古式ゆかしい「流鏑馬」が行われます。

地　図

編集後記

市議会だより第７４号を最後まで読んでいただきありがとうございます。

「癸卯（みずのとう）」の年がスタートしました。去年までさまざまなことの区切りがつき、次へと向かっていく、そこに成長や増殖といった明るい世界が広がっていくと解釈されています。令和５年度から、酒田市総合計画後期計画がスタートします。本市の持続的発展や活性化などにつながるよう、市民目線でしっかりと提言し、審議の中で議論を深め、飛躍や向上の年となればと思っています。令和５年が、穏やかな年となることを願うものです。

議会報編集委員会
委員　田中　　廣

さかた
市議会だより

発行／酒田市議会　　議長／髙橋　千代夫
酒田市本町二丁目2番45号
電話（26）5770　FAX（26）5790　e-mail：gikai@city.sakata.lg.jp

※市議会だよりに対するご質問などがありましたら、お気軽にお寄せください。

詳しい議会日程や酒田市議会の様子はスマホからもご覧いただけます。

文字は、ユニバーサルデザインの文字を使用しています。

発行部数　四二、〇〇〇

酒田市議会
議会報編集委員会　編集